

対エクアドル共和国 事業展開計画

2014年 4月 現在

基本方針 (大目標)	格差是正と持続的発展
---------------	------------

重点分野 1 (中目標)	格差是正
-----------------	------

開発課題 1-1 (小目標) 社会的包摂に配慮した産業促進	【現状と課題】 ・2013年5月に再選したコレリア政権が、今後4年間の国家計画として発表した「国家開発計画“良き生活”2013~2017」では、前政権時に実施した社会開発政策を維持しつつ、新たに「生産マトリクスの強化」(基幹産業を育成し、国内向け消費財の生産を行うとともに、付加価値の高い製品を輸出することで、第一次産品輸出国から工業国への転換、エネルギー開発、産業振興等を図ろうとする成長戦略)を打ち出している。社会開発政策を維持しつつ、国際的に競争力のある基幹産業を育成することが課題となっている。 ・農業分野においては、沿岸部の小規模農民の生産性向上に必要な灌漑の整備が進んでおらず、また山岳部では小規模農民による自給自足の零細農業が行われ、農業による収入が十分ではなく、多くが国内外に出稼ぎに出ている現状にある。			【開発課題への対応方針】 ・同国の産業促進について、2014年2月に実施した日・エクアドル経済協力政策協議の結果を踏まえ、他のドナーとの協調、連携による効率化を図りつつ、生産マトリクスの強化に密接に関わる中小企業に対して、我が国の知見、経験を生かした協力を積極的に実施する。その際、貧困層、難民、障害者等社会的弱者が経済成長から取り残されないよう社会的包摂に配慮する。 ・都市部と地方との格差の問題は、所得の格差だけでなく、先住民などを含めた多様な社会階層の存在や、農業生産性、環境保全、保健衛生、基礎教育、インフラの格差といった複合的な要因も絡み合っていることから、地方を中心に総合的で持続可能な農業・農村開発を支援する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2013 年度 以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度			
			チンボソン県持続的総合農村開発プロジェクト	技プロ								5.20	
			カタラマ灌漑事業活性化プロジェクト	技プロ								4.28	
			中小企業/ノンプロ	ノンプロ								3.00	
			農業開発分野・農村開発分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV									
			産業人材育成分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV									
			農村貧困削減分野の課題別研修、青年研修	課題別研修他									
			産業人材育成分野の課題別研修、青年研修	課題別研修他									
		産業人材育成分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.08		

開発課題 1-2 (小目標) 持続的発展を目指したエネルギー開発	【現状と課題】 世界自然遺産であるガラパゴス諸島にて、エクアドル政府主導による化石燃料ゼロ計画が進められている他、「国家開発計画“良き生活”2013~2017」でも生産マトリクスと関連したエネルギーマトリクスの再構築(再生可能エネルギーの割合増加を含む)を掲げ、再生可能エネルギーの開発促進が進められており、同分野にて我が国の協力に対する期待が高い。			【開発課題への対応方針】 「太陽光を利用したクリーンエネルギー導入計画」の実施を着実に進めるとともに、地熱発電など我が国が優位の知見と経験を有する分野について、円借款供与を含めた支援策を中長期的に検討していく。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2013 年度 以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度		
		再生エネルギー開発に関する資金、人材育成を含めた技術支援を積極的に行い、効率的な利用促進を支援する。	太陽光を利用したクリーンエネルギー導入計画	無償							8.70	
			エネルギー開発分野の課題別研修	課題別研修他								

その他個別の案件	チンボロン県医療施設・機材整備計画	無償	—	—	—	—	—	—	—	—	10.19		
	エクアドル文化会館国立劇場音響及び照明機材整備計画	一般文化	—	—	—	—	—	—	—	—	0.96		
	公共放送局番組ソフト整備計画	一般文化	—	—	—	—	—	—	—	—	0.36		
	北部境界地帯における人間の安全保障アプローチによる平和と関係のための地域の能力強化	マルチ	—	—	—	—	—	—	—	—	2.09百万USD	国連人間の安全保障基金	
	チンボロン県児童栄養改善計画	マルチ	—	—	—	—	—	—	—	—	2.38百万USD	世界銀行・開発政策・人材育成基金	
	基礎教育、保健、社会的弱者支援分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	教育改善分野の課題別研修	課題別研修他	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
教育、保健、上下水道整備分野等の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.58		
重点分野2 (中目標)	環境保全・防災												
開発課題2-1 (小目標) 防災	【現状と課題】 エクアドルは環太平洋地震帯に位置する地震・津波多発国であり、火山噴火、水害等の被害も頻発している。当国政府は憲法において防災を国家的役割と位置付け、国家危機管理庁を創設(2009年)し、自然・人的災害に対するリスク軽減、危機管理のための組織的・社会的な能力向上、被災者のニーズに対応した活動促進を目指しているが、未だ十分な財政、技術力を有しておらず、自然災害に脆弱な状況が続いている。		【開発課題への対応方針】 ・我が国の幾多の災害経験や教訓により培った防災に関する知識や技術を活用して官民連携も視野に入れつつ、同国のニーズに応じた防災強化について、積極的に支援していく。 ・環境分野においては、多数の国際機関、ドナー、NGOが注目し、様々な協力を実施していることから、各ドナーとの協調・連携による相乗効果を目指し、我が国が得意とする専門分野に特化した協力を実施していく。										
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2013 年度 以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度			
	防災強化	津波警報システムの改善及び能力向上を目的とする技術協力を中心に、南米広域における裨益も検討しつつ、自然災害に対する防災対策の強化を図る。	津波を伴う地震のモニタリング能力向上プロジェクト	技プロ	—	—	—	—	—	—	—	1.40	
		防災分野の課題別研修-青年研修	課題別研修他	—	—	—	—	—	—	—	—		
		地上デジタル放送導入支援アドバイザー	個別専門家	—	—	—	—	—	—	—	0.37		
		防災分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	—	—	—	—	—	—	—	0.58		
その他	環境保全を含むその他個別の案件	環境保全分野の課題別研修-青年研修	課題別研修他	—	—	—	—	—	—	—	—		
		環境分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV	—	—	—	—	—	—	—	—	5.00	
		環境分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08	

【凡例】 「協定」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「個別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「CO省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブスキームを除く全ての無償資金協力)、「ノン・プロジェクト無償及び中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力」(=草の根無償)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償)、「一般文化」(=一般文化無償)、「草の根文化」(=草の根文化無償)、「有償」(=円借款)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多機関協カスキーム)、「中小企業支援」(=中小企業製品・技術とODAのマッチング事業「ニーズ調査」、「案件化調査」および「普及・実証事業」、かつ中小企業連携促進基礎調査)、「実証」(=実証期間)、「破綻」(=実施予定期間)

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。